

旧二小跡地の活用を考えるワークショップ報告

第4回(最終回)ワークショップを開催しました！

鶴岡市では、旧二小跡地に第二学区コミュニティ防災センターを移転し、中央児童館との連携により「子どもから高齢者までが交流できる場」「地域で子どもを育てる場」が一つになった新しい拠点の整備構想を検討しています。

旧二小跡地が、より多くの方に利用され、魅力的な場所になるように、令和6年7月30日(火)に第4回目のワークショップを開催し、地域のみなさまと一緒に旧二小跡地の活用について考えました。

ワークショップの概要

■開催日時 令和6年7月30日(火) 18:30~20:30 (31人参加)

■当日の流れ

1. これまでの振り返り等

これまでのワークショップの振り返りを行った。
また、これまでの意見を踏まえ、平屋建て案と2階建て案の2案に絞り込んで検討したこと説明した。

2. 各設計案への意見収集

2つの設計案をそれぞれのテーブルに配置し、平面図と立体模型を用いて、設計案への意見収集を行った。

3. 総評

2つの設計案に寄せられた意見の発表、追加の意見発表も行い、参加者で共有した。
最後に総評と今後の流れについて説明した。

1 これまでの振り返り

最初に、これまでのワークショップの振り返りを行いました。

今回のワークショップでは、第3回目のワークショップでの意見を踏まえて、平屋建て案と2階建て案の2案に絞り込んだ設計案を提示し、できるだけ多くの意見を集め、今後の設計に反映させたい旨を説明しました。



2 各設計案への意見収集

参加者の皆さんは2グループに分かれて、平屋建て案と2階建て案の各テーブルを回り、ファシリテーターからそれぞれの案の特徴や設計意図の詳細な説明を受けました。

参加者の皆さんからは、立体模型を見ながら、各案の良いと思った点を赤い付箋に、課題点や改善点を青い付箋に書き込み、図面に貼る作業をしていただきました。



図面や立体模型を見ながら、早稲田大学の学生から各案の特徴や設計意図の説明を聞く参加者の皆さん



平屋建て案の立体模型



2階建て案の立体模型



図面に貼りつけられた付箋の状況。
第3回目に引き続き、参加者の皆さんからたくさんの意見が出されました。

3 総評

まとめとして、各案に寄せられた意見を各テーブルのファシリテーター等が発表し、参加者で共有しました。また、追加の意見も寄せていただきました。最後に、早稲田大学から総評をいただき、今後の予定についてお知らせし、閉会しました。



建物に関する意見

●和室の必要性

関心が高かった事項。「着付けができるように和室が欲しい」「会議室としても使えるよう、置き畳でいいのでは」等、和室の必要性について多くの意見が出された。

●平屋建てと二階建ての構造

平屋建て案の屋根を平常時は遊び場として活用し、発災時には避難できる場所にしては、という提案があった。二階建て案については、日常の使い勝手が懸念されていたが、会食が伴う利用を一階のホールやラウンジを活用する等の使い方を工夫する意見があった。

建物に関する空間

●ラウンジ空間

特に関心が高かった事項。建物に入りづらいということがないように、外からも見えて、誰でも入りやすい、そんな場所になってくれたらいい、というような総じてポジティブな意見が多かった。

●内部空間の使い勝手

部屋の移動がスムーズか、使いやすいかを懸念する意見が多かった。大人数が集まる場面も考慮した空間設計が求められている。

配置に関する意見

●児童館とコミセンの間の空間

両施設の間を広く取り、イベントが行えるスペースとして活用したいという意見が、平屋建て案と二階建て案の両方から寄せられた。

●敷地全体の活用

建物と広い外部空間の繋がりを想像しながら、引き続き検討していくことが重要。ランニングコース等の意見も次のステップで検討が必要。

●除雪

関心が高かった事項。除雪が容易に行える配置が求められている。

【今後の流れ】

鶴岡市では、ワークショップでの意見を踏まえて、令和6年度内に基本構想をまとめる予定です。検討状況については、引き続き機会をとらえて、皆様にお知らせしていきます。